

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等ディサービス SOALA宇美校			2025年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運営基準である広さを確保しております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		管理者、児発管+2名の児童指導員の配置に加え、1名以上の児童指導員を配置しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		段差の大きい所はステップを置いて対応しております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		個別の活動やグループ活動の際に合わせてスペースを変えるなど工夫をし過ごしやすい環境作りをしております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		別室を設け児童の情緒面にも寄り添った活動を行っております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		課題点に目を向け職員間でミーティングを行っております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者等向け評価表アンケートを集計し、HPへ掲載させていただいております。また疑問点、質問等いただきましたら真摯に向き合い対応しております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日頃から情報共有を行い、改善点があればチームミーティングを行っております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		相談所や関係機関からいただくお声を大事に業務の見直しを行っております。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回に全体、年数回に階層別研修等、学習の機会を設けています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域に基づいた支援内容の作成、活動の発信を行っております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		個別支援計画は半期に一度見直しを行い、適宜面談にてアセスメントを行っております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		会議の場を設け職員全体の共通認識に繋げております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員がいつでも確認できるようファイルに情報をまとめ、定期的に確認することで共通認識を高めております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		社内共通ツールを用いて記録を残し把握しております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえ必要な支援の提供を行っております。作成後は面談にてアセスメントを行っております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日の活動内容は職員間で話し合いをし計画しております。		

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	5領域に沿った活動内容にし、固定化しないよう職員間で話し合いを行っております。パルクール、リズムジャンプなど新たなプログラムも導入し職員研修を設け、お子様にご提供しております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1日の支援の活動の中に個別、集団活動どちらもを組み込み支援内容に沿って提供を行っております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝のミーティングで活動内容、活動の流れの確認、役割分担を行っております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	社内システムやミーティングを通して共通を図っております。一貫した支援に努めております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	活動記録は毎日入力し支援計画を作成する際にも活用しております。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	相談支援事業所の方と連携を図りモニタリングや、保護者様へのヒヤリングを実施しております。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	担当者会議の前には利用児童の活動の様子、状況なども共有し、管理者と主となる指導員が参加しております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	毎月、支援の様子をまとめた資料を配布しお子様のご様子や課題点に向けた取り組みについて共有しております。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。 また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	関係機関に月ごとに活動内容をまとめた書類をお渡しし定期的に情報共有を行っております。また、学校や園・療育施設・相談事業所・管理者と主となる指導員等でケース会議を行い、一貫した支援のご提供を図っております。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	就学時、移行支援として関係機関、保護者様、相談支援事業所の方と情報共有を行っております。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	専門性の高い意見を参考に事業所でも取り入れ連携を図っております。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	地域の公共施設を利用し他のお子様と接する機会を設けております。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	写真やエピソードを交えて具体的に様子をお伝えしております。また保護者様からのご意見もお受けし、課題点の見直しやご家庭でのアドバイス等を行っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	保護者会として『そあらのひろば』を定期的に実施しております。ご家族様参加型のイベントであり子育ての悩みや意見交換の場としても活用されております。保護者様同士の連携の機会になればと思っております。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、ご説明をさせていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントを元にお子様、ご家族様にとっての最善の利益を考え支援計画の作成にあたってしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		アセスメントに基づいた児童発達支援計画の作成をしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		対面やLINEを活用しながらご相談いただいた場合は必要に応じて面談の機会を設ける、適切なアドバイスを提示させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		「そあらのひろば」を通して、保護者様同士の交流、連携をお手伝いしております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		申し入れがあった場合は職員の体制を整え受け入れ対応が出来るよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラム等のSNSを通して活動内容を発信しております。インスタグラムをみて事業所やお子様の雰囲気を感じてもらえるよう創意工夫をしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護の同意書をもとに慎重かつ丁寧に扱っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて視覚情報の導入を行い意思疎通の配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		土曜日のイベントの際などに外部のゲストティーチャーを招いております。また、保護者様参加型のイベントにおいては兄弟のお受け入れも行っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルをもとに毎月訓練を実施しております。イベントにも組み込み保護者様への周知も行ってまいります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月に一回マニュアルを元に避難訓練、防犯訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		アセスメントにて服薬やてんかん等の状況を把握しております。職員間でも共通認識を図り、対応できるよう努めております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当のお子様に関しましては保護者様とも情報共有を行いアレルギー食品の除去や代用品で対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間を通じた安全計画を実施しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		面談などの際にご説明をさしあげております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット記入の際は全体で対策や再発防止に向けた会議を行い記録を保管しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		マニュアルを元に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議の開催や虐待防止研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束の取扱いに関しましては全職員研修を受け、念頭にいられております。	